

交通遺児育英会機関紙

©平成18年10月1日発行
発行・財団法人交通遺児育英会
〒102- 東京都千代田区平河町2-6-1
0093 (電話) 0 3 (3 5 5 6) 0 7 7 1
(H P) http://www.kotsuiji.com

君とつばさ



千葉で18年度「つどい」開く

18年度の「高校奨学生と保護者のつどい」が8月5、6、7の3日間、千葉市のアパホテル&リゾートへ東京ベイ幕張と東京ディズニーランドで開かれた。全国3ブロック制になって2巡目に入ることしは、北海道、東北、関東地区から41家族83人が参加。同じ境遇にある者同士が語り合い、親睦を深めた。
初日は午後1時半から開会式。穴吹俊士専務理事のあいさつに続いて、柔道家の古賀稔彦さんが「人生の教科書」と題して講演した。このあと、奨学生は6グループ、保護者は5グループに分かれて分科会方式による懇談会を開いた。
奨学生グループは、卒業後の進路、育ててくれた人

胸の内語り、デイズニー満喫

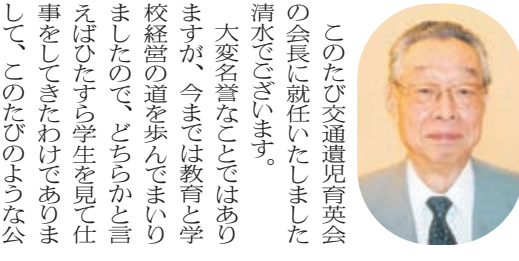
北海道、東北、関東の83人参加

18年度の「高校奨学生と保護者のつどい」が8月5、6、7の3日間、千葉市のアパホテル&リゾートへ東京ベイ幕張と東京ディズニーランドで開かれた。全国3ブロック制になって2巡目に入ることしは、北海道、東北、関東地区から41家族83人が参加。同じ境遇にある者同士が語り合い、親睦を深めた。
初日は午後1時半から開会式。穴吹俊士専務理事のあいさつに続いて、柔道家の古賀稔彦さんが「人生の教科書」と題して講演した。このあと、奨学生は6グループ、保護者は5グループに分かれて分科会方式による懇談会を開いた。
奨学生グループは、卒業後の進路、育ててくれた人

異文化体験、国際感覚養う

33人が英国などで語学研修

イギリス、カナダ、タイ、オーストラリア。18年度の海外語学研修が7月下旬から8月中、下旬にかけて実施され、高校奨学生33人が英語の世界にとっぷりつかって語学力を磨くとともに、現地や世界中から集まっている同年代の若者と交流するなかで異文化に触れ、国際感覚を身につけて帰国した。
研修は3年連続、ロンドンの西約150キロのソールズベリーに28人派遣したほか、エイ・エフ・エス(AFS)日本協会の協力でカナダなど3カ国に計5人を派遣した。
いずれも現地の家庭にホームステイしながら英語学校や高校に通うとともに、課外活動のスポーツや行事への参加を通じてその国の歴史や文化にも触れた。
研修生が苦労したのが会話。日本では読んだり書いてたりする授業が中心で、リスニング、スピーキングが苦手という奨学生がほとんど。当初はホストファミリーとの意思疎通にも悩んでいた。それだけに「会話力を身につけたい」と痛感して帰国した奨学生が多かった。
ホストファミリーとは生活習慣を通して、同年代の若者とはスポーツや遊びを介して交流。音楽に国境がないことを悟ったり、各国の置かれている立場や文化の違いを肌で感じていた。土、日曜日にはそれぞれ国の観光地なども見物。テレビや写真でしか見たことのないものを直接目にし、本物の持つ素晴らしさを味わった。



清水新会長「あいさつ」

このたび交通遺児育英会の会長に就任いたしました清水でございます。
大変名誉なことではあります。今までは教育と学校経営の道を行ってまいりましたので、どちらかと言えばひたすら学生を見て仕事をしていたわけでありまして、このたびのような公益財団の経営は初めて、戸惑いも感じます。

社会環境の変化に対応 本会のあるべき姿追求

育英会は昭和44年の設立以来すでに37年余になりまして、あしながおじさんをはじめとする全国的な公益財団の経営は初めて、戸惑いも感じます。
奨学金は高校から始まって大学、大学院、専修学校・各種学校へと拡大し、さらに入学一時金制度を設けました。
益学金は高校から始まって大学、大学院、専修学校・各種学校へと拡大し、さらに入学一時金制度を設けました。
益学金は高校から始まって大学、大学院、専修学校・各種学校へと拡大し、さらに入学一時金制度を設けました。
益学金は高校から始まって大学、大学院、専修学校・各種学校へと拡大し、さらに入学一時金制度を設けました。



おことわり 「奨学生Q & A」高校生の声は休まず。
の基盤を移すかもしれない塾について、熱心に特色を聞き、丹念に施設を見て回った。
来年度の「つどい」は中部近畿地区が対象。8月24日から2泊3日のスケジュールで、ことと同じ会場が開かれる。
(2、3面に特集記事)

ペリーが黒船を連れて浦賀へやってきたころ、日本はまだ鎖国時代だった。唯一海外に門戸を開いていたのは長崎の出島。オランダと中国を相手に細々と交易していた。その小さな窓から入るニュースが新鮮だった。特に医学を志すものは、それまでの漢方医学にはない蘭方医学を修めようと、長崎へ赴く。江戸、越前からは数日かけた徒歩の旅。それでも新しい知識、技術を得ようと、多くの若者が長崎をめざした。時代は下って昭和30年代前半。作家の小田実さんは、アメリカ留学を足がかりに2年かけて北欧、ヨーロッパ、中近東、インド22カ国を渡り歩いた。「世界を見たかった」というだけの貧乏旅行。著書『何でもみてやろう』はその記録だ。決死の覚悟で臨んだ幕末の若者。太平洋戦争敗戦10年後、世界一周の旅を夢想した昭和の若者。彼らを突き動かしたものは何か。約100年の時間的隔たりがあるとはいえ、共通するのは未知、新しいものへのあくなき挑戦だろう。▼本会が2年前から取り組んでいる海外語学研修。語学の習得もさることながら、日本とは異なる文化が世界にはあることを感じてもらうというもう一つの目的がある。▼ことし3期生を派遣したが、年々応募者が少なくなっているのはなぜか。部活、受験などはあろうが、10代に異文化に触れることの意味は小さくないはず。若い人たちの「進取の精神」を呼び覚まし、頼りなくはない。

# つどい特集

保護者のみなさん、交通事故によって耐え難い被害に遭われた同じ立場の方々。この出会いを機会に、日ごろの思いをぶちまけ、いまを生きる糧にしたい。このつどいを通じて、少しでも心が軽くな

初日正午すぎ、早くも大きな荷物を手にした親子連れがアパホテル&リゾートへ東京ベイ幕張へやってきた。日ごろとは違うリラックスした表情で受け付けをすませ、開会式場のホールへ。

午後1時30分、開会式。いよいよ18年度つどいの幕開けだ。

穴吹俊士専務理事があいさつ。「参加された奨学生、保護者のみなさん、交通事故によって耐え難い被害に遭われた同じ立場の方々。この出会いを機会に、日ごろの思いをぶちまけ、いまを生きる糧にしたい。このつどいを通じて、少しでも心が軽くな



このあと、柔道家の古賀稔彦さんが「人生の教科書」を願っています。



「と題して講演。優勝候補として出場したソウル・オリンピックで3回戦で敗退した屈辱をバネに、バルセロナでは金メダルを獲得するまでの心の葛藤を語り、「ピンチこそ最大のチャンス」との訴えに、参加者は引き込まれていた。

午後4時からは、奨学生6グループ、保護者5グループに分かれての分科会。

奨学生グループは、卒業後の進路、育ててくれた人に伝えたいこと、携帯電話・アルバイト・小遣いなどについて話し合った。

卒業後の進路は、1年生はまだ決めかねている様子

システムエンジニア、看護師、保育士、美容師、図書館司書を目指す人や、情報処理、鉄道、旅行会社、農業、まく言葉で表現できないものが見え、夢を見ていた。サッカー選手を夢見ている子も。これまで育ててくれた人



講演 古賀稔彦さん

04年アテネ・オリンピックで女子柔道チームは金メダル5、銀メダル1という立派な結果を残した。このとき私がコーチしたのが、63キロ級で金メダルを獲得した谷本歩美選手だった。

女子柔道界は小学生、中学生から始めるため、どうしても過保護な世界で育ってくる選手が多い。そこでまず私は、谷本自身を自立させるため「絶対にオリンピックチャンピオンにならなければならない」という決心をさせた。人は強い決心をすると、た

ただ、夢を達成できる人間は、これを後悔や自己を非難する材料とするのではなく、反省材料とし、あすへ力にする。「継続は力なり」という。継続していれば力は安定しているかもしれないが、安定することと、人は強い決心をすると、た

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん

「人生の教科書」

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん

## 同じ悩み みんなで討議



業を挙げている。サッカー選手を夢見ている子も。これまで育ててくれた人

どかしさのようなものが見られた。その結果、「産んでくれてありがとう」「傷つけ

「母親と息子の関係」と、夕食をほさんで、午後8時30分からは全体会議。分科会で話し合われた結果が報告された。

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん



大力君と森さんが学生寮を紹介

「人生の教科書」

柔道家 古賀稔彦さん

「人生の教科書」









秋晴れの東京を飛び立つたJAL1863便は、100キロの上空をフライト、鹿児島空港に着陸した。ここから高速バスで本州最南端のJR始発駅・枕崎に出て、ワンマン電車に乗り換え、西頓娃娃駅に着いた。

# お母さんただいま奮闘中

## 鹿児島県頓娃娃町 東 敬子さん

薩摩半島・開聞岳の西側に開けた頓娃娃町は純農業地帯。大茶園の中に延びる県道27号を、タクシーで駅から10数分走ると、奨学生のお母さん・東敬子さん(53)の勤めている「JAいぶすき・えい茶業センター」があった。



業務用の1キロパック茶を手作業で計量、袋詰め

### おいしいお茶の指南役 茶業センターで働く

「お茶王国えい」といわれる頓娃娃町のお茶。えい茶は、人と環境に優れる有機質主体の栽培茶。茶園1、740ヘクタール、製茶量6、250トンを、生産金額100億円を超える、市町村別の荒茶生産量では日本一を誇り、日本を代表する大緑茶産地だ。品質面でもグリーンで良品質が評価され、品質レベルを競う品評会では大臣賞や産地賞を受賞している。

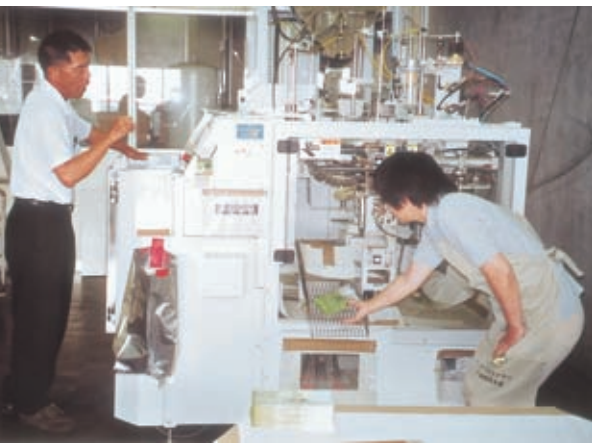
### 新鋭機で高級銘茶 えい茶の袋詰め

9月5日午後2時ごろ、「日本最大グリーンな茶づくり産地」の看板が出ている茶業センターの「産地・直売の店」を訪ねた。お母さんは仕事で、窓から見える広大なお茶畑と開聞岳の雄姿を見ながら待った。「お茶をどうぞ」と売店の責任者伊瀬知和子さんに薦められ、一口飲んであまりのおいしさに驚いた。

「えい茶は標高1000メートルから4000メートルの涼しくて霧深い場所で作っており、香りが高くて味



茶袋に窒素ガスを注入・真空パック



自動袋詰め機で福留さんと作業するお母さん

手が離せなかったという。センターには、横59メートル、奥行き17メートルの鉄筋コンクリートの立派な製品化作業施設・粉末加工施設兼冷蔵施設(1、2号)をはじめ緑茶再製加工施設、売店、事務所、会議室があり、15人が働いている。

わいがあるんですよ。伊瀬知さんの説明に納得した。まもなく、笑顔でお母さんが現れた。お茶の自動袋詰め機を動かしていたのでお茶を袋詰め



玄米茶作り。スコップで茶と玄米を混ぜる

### 酒絶ちで思い届けた夫 わが子と海を愛してた

午後5時ごろ、高級茶をばはじめ、極上煎茶、特上煎茶、上煎茶、粉末煎茶、深蒸し茶、緑茶、玄米茶などが並んでおり、その中には自分が袋詰めしたものもある。冷凍ケースには今年春発売、大好評の「えい茶ペットボトル」や「緑露指宿・粉末煎茶、抗アレルギー成分を多く含む」べにふ



商品を前に福迫課長、伊瀬知さんとお母さん



仕事を終え、コーラで一息

「うき茶」も納まっている。売店を手伝うこともある。お母さんは、昼食のお弁当を伊瀬知さんと一緒に一緒に食べるのも楽しみ。今はこのセンターでいきいきと働いているお母さんだが、就職して2年目の平成8年5月11日の未明、夫の敏広さん(当時45歳)が道路を歩いていて交通事故で亡くなった時の強いショックは忘れられない。

子どもは結婚願う 友達のビールが最高 夫が亡くなって10年の月日が流れた。あの時、4人が高1、長女さゆりさん中

お母さんが今一番楽しみにしているのは、友達とたまに飲むビール。「ジョッキを傾けながら、わいわい楽しく騒いで情報を交換するのが最高です。これから先のことにはヒマがきたら考えます。南国の太陽の光の中で、お母さんの大きな笑顔が輝いていた。

もど海を見に行っていたのに、何んてこんなことに。私たちも無事成長して、今は保徳君(26)は東京の建設会社に勤め、さゆりさん(23)、由加里さん(20)の姉妹は、美容師と保育園の保育士として働いている。高3になった建吾君も「車を整備していた父の後ろ姿がかっこよかった」と迷っていた

1、二女由加里さん5、二男建吾君5と、全員学校に通っていた。その子どもたちも無事成長して、今は保徳君(26)は東京の建設会社に勤め、さゆりさん(23)、由加里さん(20)の姉妹は、美容師と保育園の保育士として働いている。高3になった建吾君も「車を整備していた父の後ろ姿がかっこよかった」と迷っていた

とき、敏広さんが毎日のように通ってきた。お茶だけ飲んで話を聞いて帰るので、酒は嫌いだと思っていた。ある日、姉の主人から「彼はいい人だ。焼酎が大好きでよく飲む」と聞かされた。自分たちのためにがんばって「酒は嫌いだ」と気づいてほろりと涙が流れた。式は頓娃娃町の「磯の茶屋」で挙げた。披露宴には、夫が経営していた枕崎の自動車整備工場の友達が、大勢参加、新婚旅行の車にたくさんカンカンをつけてくれた。お母さんは胸のう

# 奨学生のコーナー

広島県立因島高校 3年 岡野 美紗都



イラスト

埼玉県立新座総合技術高校  
デザイン専攻科2年 小林吉春

私は、一緒に住んでいる80歳の祖母と、近くに住む祖母がいます。

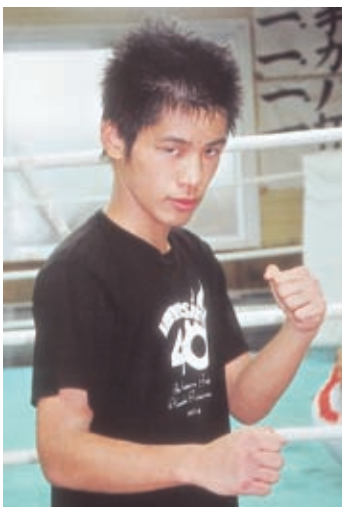
祖母は、私が幼いころからよく面倒を見てくれていました。最近耳が遠くなり、足腰も弱ってきています。近くに住む祖母も、年とともに転びやすく、頭を打って

## 祖父母の面倒 介護福祉士に

病院に行ったこともありましたが、そんなことがあって、私は将来、介護福祉士を目指そうと思いい、選択科目では福祉系の授業を取っています。

高校卒業後は専門学校に進んで資格を取り、祖父母、お年寄りの手助けをしたいと思っています。

## 燃える青春



緑濃い慶応義塾のママシ谷の急な階段を下ると運動部の建物が見えていた。9月1日(金曜日)、ボクシング部を訪ねて、猛練習に励んでいる選手を間近に見た。

慶応義塾高校のボクシング部は、慶応義塾大学の部員と同じジムで一緒に活動している。大学の主務(マ

に自主練習に参加した高校生は8人。

大学の桜井秀主将(3年)が今日の練習メニューを告げたあと、みんな

で黙想し、主将の「これから本日の練習を始めます」の力強い声で活動が始まった。

大学の田尾監督や高校の宮崎啓一郎監督、佐藤友治コーチの姿はなかつたが、選手は全員真剣に練習に取り組んでいる。



久保田選手のパンチが顔面をヒット(対人練習)



桜井・大学主将(中央)と6人の高校選手

これ言って当事者の心を痛めつけることがあるらしい。強いストレス状況では脳に深刻な影響を与える。幼児虐待のさいにはストレスホルモンの分泌が過剰になり、脳の神経細胞を痛め、これが一生残って、大人になると自分の子どもを虐待する世代間伝達となる。心的外傷後ストレス障害(PTSD)でも海馬の萎縮を起すという。

## 部活動拜見 ボクシング部員

慶応義塾高校(神奈川)2年

久保田 喜基 君 (17)



懸命にサンドバッグをたたく久保田選手

「ラスト30(秒)」「久保田、化に努めた。この日は雨で、高校主将の町田晃司選手が「久保田君は練習熱心だから、この世の中に生まれたからには何かを残したい。そうでなければ生まれてきた意味がない。残したいのは、自分の考え方を知っている人たち、自分に影響を受ける人たちだ。この使命感から、生徒たちと接する教師の仕事か、読者の心を動かす作品で記憶の片隅においてもらえるような小説家を目指したい」

対戦相手が代わった2Rからは久保田選手の調子が

「週6日のハードな練習で、危険なところもあるが、それでもやりたい気持ちはある」という久保田選手。卒業後、教師が小説家になりたい望を抱いている。

「この世の中に生まれたからには何かを残したい。そうでなければ生まれてきた意味がない。残したいのは、自分の考え方を知っている人たち、自分に影響を受ける人たちだ。この使命感から、生徒たちと接する教師の仕事か、読者の心を動かす作品で記憶の片隅においてもらえるような小説家を目指したい」

試合中に恐怖を感じたことはないという久保田選手。ボクシングで得た知恵で、大きな夢をかなえてほしい。



中根 晃(元実践女子大学教授)

現代はストレス社会だと言われ、ストレス解消という言葉がよく使われている。これで当人が気分よく明日の仕事に従事できるならばそれでよいのだが、時には破廉恥な行為で警察にとがめられた人が、「ストレスが溜まっていたので、つモンが放出され、心拍数を増やし、血管を収縮させて血圧を高め、また、エネルギーの源である血糖を増加させることで危機状況に対処する。しかし、この状態が長く続くとう自律神経系で使われている。以前、こ

## ストレス再考

らしの言い換えということになりかねない。他方、思いつきり身体を使うなどの楽しい経験は身体を疲労させ、気分をさっぱりさせる。この情報が扁桃腺という部位にキャッチされ記憶と関係のある海馬に送られる。しかし、ストレスだ、ストレスだと感情的に反発ばかりしていれば、それ自体がストレスとなって、い

調節される胃腸の働きが乱れてくるなどの不健康をもたらす。これがストレスのメカニズムであるが、一般的な使われ方は、もっぱら心理的に不愉快な状態を言っていることが多い。

確かに、現代社会は人が知的に論じあつたり、情緒的に気持ちを分けあつたりではなく、電子機器や意に添わない情報に振り回される時代である。その意味ではストレス社会なのだが、一般に言う心理的ストレスは対人的状況が作り出している。どうやら、人との共感的態度の大切さ

## シリーズ

### 心の病気

(42)